

菊池よしひと 一般質問

菊池よしひとの一般質問では大きく分けて4問の質問をしました。それぞれの質問に菊池よしひとが目指す蓮田に近づけるように期待をこめて質問をしました。一日でも早く実現できるよう日々の活動に取り組んでまいります。

1.大雨対策について

5月22日及び6月2日には市内にも大雨が降りました。特に5月22日の大雨では夜間に短時間で強く降ったため市内各地で冠水及び浸水などが発生しました。私の質問では被害状況の確認、水路の浚渫及び配管の清掃などの維持管理について、また対策として地下に一時的に雨水をためる雨水貯留槽の設置に関する市の見解を確認するとともに、被害のあった場所の、配管、樹の清掃及び配管の勾配確認、適切なサイズの配管を設置しているかの確認を求めました。

道路冠水などに関しましては、菊池よしひととも土木経験を活かし引き続き対策を検討してまいりますのでよろしく申し上げます。

2.小・中学校トイレ改修及び校舎改修について

学校のトイレに関しては私が議員になって約9年全力で取り組んでまいりました。しかしながら市内のトイレ洋式化率は55%となっています。

質問では、教室のあるフロアにあるトイレで洋式便器のないトイレが13箇所もあることが確認できました。引き続き洋式便器のないトイレ13箇所を早急に改修するように求めています。

校舎改修工事に関しては私の地元で母校でもある蓮田南中学校の大規模改修について質問をしました。市の計画では令和6年8月に設計委託が完了、その後すみやかに工事準備に入るとの事でした。教育委員会からは「すみやかに建設を進める」との答弁でしたので、菊池よしひととは令和7年度での予算確保、令和7年度初期に工事を開始できるよう準備する提案をさせていただきました。



3.総合市民体育館サブアリーナ建設について

この一年間で市民のみなさまから多かったのが、このサブアリーナ建設問題についてです。私は当初からサブアリーナ建設計画に関しては「今は建設すべきではない、再検討が必要」という立場で活動してまいりました。

以下質問の一部を掲載させていただきます。

質問 建築費はいくらか。

答弁 サブアリーナの工事費は基本設計時で税込み12億4,080万円です。

質問 建築費に令和5年4月の建設物価単価は適用されているか。

答弁 令和4年度の基本設計時の単価となっている。
※令和4年度と令和5年度では各職方さんの労務単価が値上がりしています。

質問 市民の理解を得られていると考えているか。

答弁 市議会での継続的な一般質問や、2,011名の署名簿とともに提出された要望書、サブアリーナ建設等検討会議での検討、基本計画の意見募集等を踏まえ、多くの方の理解は得られていると考えている。

質問 要望書はいつ提出されたものか。

答弁 平成23年に提出されたものです。

質問 私の周囲の方ほぼすべてがサブアリーナは今、建設すべきではないとの意見です。市長の考えは。

答弁 私の周りの人はみんな賛成です。防災のための施設を造るのではなくて、体育施設という役割が必要だと考えています。

他に「土地利用及び都市基盤整備について」を質問しました。

みなさまのご意見ご感想をいただけますと今後の活動のはげみになります。よろしく願いいたします。

フェイスブック「蓮田の良いところ・悪いところ」にて情報を発信しています。

公式HP

菊池よしひと 検索



武藤やすし 一般質問

6月定例会は武藤やすしにとって初めての一般質問でした。今回は①「第5次総合振興計画」について ②シティセールスについて ③PPP/PFI(民間資金等活用事業)を取り上げました。

1.第5次総合振興計画

第5次総合振興計画は今年3月に5年経過後の見直し改定が行われました。しかし時勢変化に伴う手直しのものばかりで、DXや脱炭素など大きな変化についての事業の追加変更はなされず「議会の承認を避けた各種計画などで市側で決めて実行すればいい」という姿勢が感じられます。予算概要説明との違いなど私なりの疑問に関し質疑を行いました。

質問 1.今後5年間の社会環境の変化をどのように計画に織り込んでいくのか。
2.総合振興計画が最上位計画とする一方で各種計画は議会との議論なく進められているがいかげなものか。策定後に全員協議会等で説明したらどうか。
3.3ヵ年実施計画の事業費額と予算の概要説明における事業費額が異なる。説明が不十分ではないか。

答弁 1.本計画のさらなる改定は行わないが、社会環境等の変化や対応について3ヵ年実施計画前文で述べることは来年度以降考えていきたい。
2.各種計画を策定前に議会に説明することは考えていない。
3.予算段階で3ヵ年実施計画にない新たな事業が加えられるものがある。実施計画との違いを説明することについては来年度予算の時に検討したい。

【今後に向けて】

予算編成段階で実施計画にない種々の案件が付加されていくことへの整合ある説明を求めるとともに、社会経済環境の変化に機敏に対応した総合振興計画の運用(優先順位の考え方を含め)を行うよう当局に働きかけていきます。

2.蓮田市のシティセールス

蓮田市のシティセールスは他市と違って総合的な実行計画もなく出たとこ勝負の活動になっています。また活動の数字的ゴールも設定されていません。今回は現在のシティセールス活動の問題点を浮き彫りにすることを主眼に質問を行いました。

質問 1. シティセールスのターゲットとゴールは。
2.数字でのゴール設定を含むシティセールスの総合計画を策定して活動を進めるべきではないか。
3.蓮田市キャッチコピー(とかいなかNo.1)の浸透・活用策は。

答弁 1.施策対象は蓮田市民・他市の方々全て。活動のゴールは振興計画蓮田市の将来理想。
2.数字のゴールは令和9年の将来人口60,600人。現在総合計画を作ることは考えていないが将来的に策定が必要になるかもしれない。
3.キャッチコピーの浸透度は十分でないと感じている。今後の活動に活かせるよう工夫したい。

【今後に向けて】

シティセールス(プロモーション)の本来の目的は「蓮田市の社会認知を高め」「市民の蓮田への愛着や誇りを高める」ことで「定住人口、交流・移住人口の増加」や「蓮田産品・産業の活性化」につなげることです。市としてシティセールス計画をきちんと策定し、目標を決め、蓮田が外に売り、発信できる強みとなりうる「プロダクト」を全市挙げて創っていくことが必要です。この具体化についてしっかり当局と議論していきます。

3.PFI (Private Finance Initiative : 民間資金等活用事業)

PFI(Private Finance Initiative)とは、民間活力を活用・導入して質の高い公共サービスを実現することを目的として国が強く推進している手法です。民間の資金調達や事業運営方法を使うことで公営側の費用を縮減したり平準化することが可能になり、市民への予算配分の選択肢を広げるなどのメリットが生まれます。しかし蓮田市ではPFIに関する議論がほとんど進んでおらず、当面の事業への積極的活用の姿勢も見られないことから、今後に向けた市の姿勢と考え方を糺すために質問を行いました。

質問 1.PPP/PFIについて蓮田市での導入・検討状況は。
2.今後の市の事業においてPFIを活用する考えはあるか。メリット・リスクをどう考えるか。積極的に活用を検討すべきではないか。

【今後に向けて】
全国で多くの自治体が国の方針に沿って導入を検討しているのに比べ、蓮田市では市長答弁も含めPFIについて後ろ向きです。今後市としてPFIを積極的に活用していく方針と風土を醸成する活動を強化していきます。

答弁 1.PFIの導入実績はない。PPPでは駐車場や学童保育所での指定管理者の導入を行っている。
2.PFIは、施設完成後に市は事業主に対して建設、運営、維持管理の費用を毎年支払うことになる。失敗事例もあり、将来を見据え慎重な対応が必要と考えている。今後公共施設等において構想段階から導入を検討する場合はプロジェクト方式等今後検討していくことはあり得る。

